特集 巻頭

「強くなりたい！」で育つ心
彩都将棋クラブ

日本古来の伝統遊戯、将棋。現在もプロ・アマ問わず多くの人に愛され、昨年は棋士の華々しい活躍に世間が湧いた。小学生たちが将棋を学ぶ『彩都将棋クラブ』で、決して色褪せない将棋の魅力を尋ねた。

坪井さんや仲間がふたりの対局を見守る

会心の一手を指し、相手の出方を待つ

「相手がこう来た時の動き方は…」将棋の基本を丁寧に指導する安田さん

年齢に関係なく楽しみながら思考力を伸ばせる将棋

パチン、パチンと軽快に響く駒の音。将棋盤の前に座っているのは小学生だ。『彩都将棋クラブ』は月に3回開室する小学生向けの将棋クラブ。『東生涯学習センター』でボランティアによって運営されている。閉室1時間前までなら好きな時間に参加できるとあって、この日も入れ替わり立ち替わり子どもたちがやってきた。慣れた手つきで本将棋を指す小学生から、初心者向けの将棋ゲームに取り組む小学生までさまざまだ。

「将棋は奥が深く、一度覚えればずっとやり続けられる。対局中は時が経つのを忘れます」。そう語るのは代表の安田稔さん。将棋の魅力は相手と無言の会話ができることにある。一手一手に相手の気持ちを感じ取り、年齢などの垣根を超えてつながれる遊戯なのだ。

代表 安田稔さん

「プロを志す子が現れたら、師となる棋士を紹介できるよう応援していきたいです」

楽しいだけではない。勝ちたい子どもたちは、相手の立場に立って状況を見る理解力を伸ばしていく。対局中は自分ひとりで考え抜き、負ける時は「負けました」と認めなければならない。悔しさは「強くなりたい」という気持ちを生み、自分で実力を伸ばす粘り強さが養われる。「将棋は問題解決学習の原点です」と安田さん。教師として小学生を長年教え育てた経験から得た結論だ。

▼この日出席したみなさん。現在は15 名のメンバーがクラブに在籍している。『東生涯学習センター』のそばには広い公園があり、みんなで外へ遊びに出かけることも

盤上で生まれる会話を大切に対局指導員がやさしく指導

コミュニケーションを大切にしていることも大きな特徴。メンバーの学年には幅があり、子どもは自然と年の違う相手と対局する。年上は年下の面倒を見られるようになり、年下は年上から多くを吸収する。子ども同士がお互いを育てるのだ。

「心がけているのはとにかく将棋を楽しんでもらうこと。いいところを褒め、惜しいところは励ます」と安田さんは話す。時にはスライム作りを通じて理科の実験をしたり、秋には自然観察として外に出かけたりもするという。「私は生涯教師ですから、すべて子どもたちの成長が楽しみでやっていることなんです」と安田さん。

安田さんの他にも3名の対局指導員がおり、それぞれ将棋インストラクターの資格や長い将棋経験を持つ実力者だ。そのひとり、『大阪大学』で『阪大将棋部』主将を務めた坪井俊樹さんは「自分も子どもの頃将棋教室に通っていたのでこの雰囲気は懐かしい」と話す。この春で卒業し、大阪を離れる坪井さん。対局指導員の役目は将棋部の後輩に引き継がれる予定だ。

壁に提げられた安田さん手製の掛け軸。将棋を指す上で大切な心構えが記されている

将棋で育つ子どもたち〝箕面将棋連盟〟設立を目指して

創部から2年。安田さんは今、新しい局面に向かおうとしている。開催場所を3箇所に増やし、箕面市の子どもたちに将棋をより広く普及する試みだ。会場のひとつは『みのおキューズモール』にある『みのお市民活動センター』。親子連れの買い物ついでに、子どもが将棋を学べる環境をつくる。もうひとつは、今年2月に開館の『西南生涯学習センター』だ。これにより、市内の広いエリアから小学生が通えるようになる。

先に見据えるのは〝箕面将棋連盟〟の設立。子どもの心を大きく育てる将棋の力を箕面市全体にもたらす構想だ。「その時には今の子どもたちが、次の世代のコーチに育ってくれることを期待しています」と安田さんは語った。

『彩都将棋クラブ』小学生にインタビュー

同クラブに通う、将棋が大好きな小学生たちに話を聞いた。
先生たちの指導のもと、順調に実力を伸ばしているそう。
近い将来、プロ棋士が生まれるかも…？

姉が将棋を指すのでぼくも覚えました。指導の坪井先生はとても強いです。将棋はどきどきするところが好きです。特に、強い駒を取られてしまった時、どきどきします。(小4)

おじいちゃんが将棋をやっていて、ぼくもやりたくなって始めました。将棋は長い間受け継がれてきたものだから、指す時は真面目にしないといけないと思います。(小3)

負けると悔しいけど、負けることも勉強と思って研究しています。先生はやさしくて教え方もわかりやすいです。最近強くなってきて、お父さんに勝ちました！(小4)

他の習い事もあって時々しか来られませんが、対局は時間がどんどん過ぎて楽しいです。自分なりの勝つコツは対局中、盤上の駒のこと以外一切考えないことです。(小5)

メンバー募集中 『彩都将棋クラブ』会場案内

東生涯学習センター
毎月第2・第4土曜日(9:00～12:00)、第3土曜日(13:30～17:00)
【対象】小学1～6年生　【内容】本将棋、挟み将棋、5五将棋など
【住所】箕面市粟生間谷西 3-1-3　東生涯学習センター地下 1F 茶室
【費用】会場代：月 200 円、保険代：年 800 円

■ NEW OPEN
※各会場の定員は 12 名程度　※費用や開始月、内容など詳しくは問い合わせを

みのお市民活動センター
毎月第2・第4火曜日
【対象】年長児、小学1・2年生
【住所】箕面市坊島 4-5-20 みのおキューズモール WEST1-2F

西南生涯学習センター
毎月第2・第4土曜日
【対象】年長児、小学1・2年生　【住所】箕面市瀬川 3-2-5

取材協力
彩都将棋クラブ
【問い合わせ】080-1500-6779(安田)

文／刀祢美沙　デザイン／小林亜由　写真／K.Hirohata